

豊かな表現の世界「絵画制作展」



二月二十二日、ひばり幼稚園にて絵画制作展が開催されました。

園内には、子どもたちが一生懸命作り上げた作品がずらりと並び、保護者や祖母の方々を迎える特別な一日となりました。

展示会場には、たくさんの方々が訪れ、作品の前でじっくりと鑑賞する姿が見られました。子どもたちは「これ作ったんだよ!」と自信たっぷりに説明し、「ここが大変だったの」「この色が気に入ってるんだ」と、制作中の思い出を楽しく語っていました。親子三代で並んで写真を撮る場面も多く、家族の温かい交流の場となりました。

子どもたちの力作が勢揃いの作品展

ひばり新聞

Hibari

号外

発行月

2月



保護者からは「こんなに楽しそうに取り組んでいるとは思わなかった」「普段、家では見られない姿を知ることができてよかった」といった感想も聞かれました。

祖父母の方々からは「孫がこんなに立派に作れるようになったなんて!」と驚きの声も上がっていました。

制作展の準備期間中、子どもたちは夢中になって作品づくりに取り組みました。友達と意見を出し合いながら「ここはこうしたらいいんじゃない?」と試行錯誤する場面も。ときには「なかなか思ったようにできない!」と悩むこともありましたが、「最後までがんばる!」とやり遂げた子どもたちの顔は、達成感に満ちていました。

今後も創造力を育む活動を大切に、子どもたちが自由に表現する機会を提供していきます。

笑顔と元気で福を呼ぶ! 節分行事



二月三日は日本の伝統行事「節分」に親しみながら、子どもたちの元気な声が園内に響く特別な一日となりました。

まずは、節分の由来について学ぶ時間からスタート。その後、いよいよお待ちかねの豆まきの時間です! 子どもたちは紙を丸めて作った特製の豆を手には、「鬼は外! 福は内!」と元気いっぱい掛け声をかけながら豆をまきました。豆まきが終わると、「鬼をやっつけたよ!」「これで元気に過ごせるね!」と、子どもたちの表情は達成感と喜びにあふれていました。

この行事を通じて、日本の伝統文化に触れながら、健康で元気に過ごせるようお願いを込めて豆まきを楽しむ姿が見られました。

見て聞いて嗅いで食べて体感する食育



今月の正課活動「食育」では、全園児を対象に「鮭のちゃんちゃん焼き」の食育が行われました。

今回の食育は、鮭の解体実演からスタート。普段、切り身でしか見たことがない子どもたちは、丸々とした大きな鮭の姿に「大きいね!」と目を輝かせていました。

解体が進むにつれ、身の鮮やかな色や、骨を切る「ゴリ、ゴリ」という音、ちゃんちゃん焼きを調理する時の「ジュウジュウ」という香ばしい音や香りに、子どもたちは興味津々。驚きの声を上げたり、拍手をしたりと、五感をフル活用しながら学びました。

普段の給食では魚は骨のない状態で提供されていますが、「みんなと同じように骨もあり、命があること」「食事はその命をいただいていること」を実際に感じられる貴重な機会となりました。

解体された鮭は、その日の給食メニュー「ちゃんちゃん焼き」として登場。「いただきます!」「ごちそうさまでした!」の言葉とともに、子どもたちは食べる喜びをより一層感じながら、命の大切さに触れました。

今月のお知らせ

絵画制作展の様子

Instagramでは、絵画制作展の準備から当日の様子等もご紹介しておりますので、ぜひご覧ください!

いいね・フォローも大歓迎です!



@HIBARI_KINDERGARTEN